



おかやま環境ネットワーク

No.85
2016.11

NEWS

発行:公益財団法人おかやま環境ネットワーク
〒700-0026 岡山市北区奉瀬町1-7-7
TEL/FAX 086-256-2565
E-mail:kankyounet@okayama.coop
HP:http://www.okayama.coop/kankyounet/

体験プログラム開催報告

『高島干潟いきもの観察会』

- ◆日時：7月31日（日）13時～16時
- ◆場所：児島湾高島干潟
- ◆講師：齋藤達昭氏（岡山理科大学理学部准教授）
吉鷹一郎氏（岡山野生生物調査会）
- ◆参加：63名
- ◆内容：実際に干潟の中に入り、いきものたちと触れ合うことで、五感を通して豊かな「多様性」を感じるとともに、自然環境について考え、姿を消しつつある「干潟の役割」や「水の中の命のつながり」について考えるきっかけをつくることを目的に開催しました。
当日は、講師による干潟の役割や現地のいきものについての解説と、いきもの採集体験と採集できたいきもの解説を聴きました。



- ◆参加者の感想
- ・小さいいきものをたくさん自分たちの手で見つけて、生態系のしくみを実際に観察するという経験を子どもたちにさせることができ良かったです。子どもたちが将来、豊かな自然に囲まれて過ごせるよう、日々の生活でも気をつけていきたいです。
- ・先生の解説など、いきもののがよく分かりました。多くのいきものがすむ干潟を守っていかなければと思いました。
- ・干潟の大切さを知ることで、干潟を守らないといけないという気持ちが一層強くなりました。
- ・実際に身近な環境のことを考える良い機会となりました。

『富・白賀川の自然と文化を学ぼう』

- ◆日時：8月11日（木・祝日）8時～17時
- ◆行先：樫西和紙工房、森江製材所、白賀溪谷
- ◆講師：齋藤達昭氏（岡山理科大学理学部准教授）
山口一祐氏（岡山理科大学理学部教授）
吉鷹一郎氏（岡山野生生物調査会）
- ◆参加：63名
- ◆内容：オドロキの自然環境が残る旭川源流にて、専門家の解説を聞き、源流の豊かな自然と文化を満喫しながら、自然観察と文化・伝統を学ぶことを目的に開催しました。
当日は、樫西和紙工房と森江製材所の見学、富公民館にてオオサンショウウオ生態の学習、白賀溪谷にて地質やいきものについての学習、白賀川にてアマゴの放流と水辺教室を行いました。



- ◆参加者の感想
- ・自神溪谷の豊かな自然を楽しむことができました。ゆきとどいたプランに感心しました。
- ・白賀川の源流を体験できてとても良かったです。先生方や学生さんたちの熱いハートに感謝です。
- ・きれいな水が流れる川の源流域に行けて楽しかったです。子どもにも記憶に残ってもらえたらうれしいです。多くの水のいきものを見つけられて、岡山の自然の豊かさを改めて感じました。知恵を絞ってこの豊かな自然を残していこうと思いました。
- ・岩石・川の生態は知らないことばかりで、おもしろかったです。
- ・夏の日、しっかり説明を聞きながらの水辺の体験、源流散歩など、有意義でした。

体験プログラム開催報告

『瀬戸内海のいきものと

アマモが育てる環境学習』

- ◆日時：8月26日（金）8時30分～13時30分
- ◆場所：岡山県農林水産総合センター水産研究所
- ◆参加：25名
- ◆内容：これまで、里海づくりの取り組みとしてアマモの種とり、種選別、種まきなどへ参画し、藻場再生活動を体験し、その重要性について学習してきましたが、さらにその輪を広げ、より多くの方、子どもたちに身近な海のいきものや自然環境、漁業、魚食の大切さを伝える取り組みとして、生活協同組合おかやまコープ岡山東エリアとの協働事業として開催しました。

当日は、水産研究所の概要説明と施設見学、チリメンモンスター（とれたてのチリメンの選別）、海辺のいきもの観察会を行いました。



施設見学の様子



チリメンモンスター(チリメン選別)の様子

◆参加者の感想

- ・アマモが小さな命を育てて岡山の海は素敵だなと思いました。
- ・チリメンをしたことが一番楽しかった。チリメンの中に色々な魚がいることがわかり、売る時は選別して売られていることがよくわかりました。
- ・海ではたくさんのカニや貝、小さな魚を見ることができて楽しかったです。

『地域と未来をつなぐ交流事業』 関連4プログラム開催報告

～里海づくりを通じた里海・里山・まちの連携～

I.『つぼ網漁～里海の漁法～

見学学習会』

- ◆日時：10月15日（土）10時～12時
- ◆場所：日生町漁業協同組合と周辺海域
- ◆参加者：41名
- ◆内容：つぼ網漁（小型定置網）は、アマモ場で育った魚介類を対象に、その生態をうまく利用して漁獲するため、獲りすぎることなく海からのお裾分けをいただく里海概念に通じ、豊かな資源を次世代につなげていく漁法ともいえます。

この学習を通じて、里海を見て、触って、食べて、感じて、学んでもらうことで、身近なものとして里海と里山とまちが繋がるきっかけをつくることを目的に開催しました。

当日は、日生町漁業協同組合専務理事・天倉辰己氏から『つぼ網漁』の概要の説明を聞いた後、7班に別れ『つぼ網漁』を見学し、豊かな海の恵みを実感しました。

また、昼食時には、つぼ網漁で獲れた3種のえびを試食しながら、岡山県農林水産部水産課の石黒貴裕氏から『地魚の旬を科学する』と題し、岡山の地魚についてや、地魚の旬の美味しさなどについてのお話を聴きました。



つぼ網漁の解説 天倉辰己氏



つぼ網漁の様子

『地域と未来をつなぐ交流事業』 関連4プログラム開催報告

Ⅱ.『アマモ種選別・アマモ種まき体験』

- ◆日時：10月15日（土）13時～15時
- ◆場所：日生町漁業協同組合と周辺海域
- ◆参加者：79名
- ◆内容：岡山県農林水産部水産課・樫東裕子氏から、アマモの種の選別作業の作業手順の説明を聞いた後、事前に採取、保管されていたアマモの種の選別体験を実施しました。



作業手順説明の様子



作業の様子

また、アマモの種の選別ができた後、10班に別れ船に乗り、アマモ場に移動し、船の上から種をまきました。



アマモの種



種まきの様子

Ⅲ.『里海づくり交流会』

- ◆日時：10月15日（土）15時30分～17時30分
- ◆場所：日生町漁業協同組合2階
- ◆参加者：12名
- ◆内容：日生町漁業協同組合、恩納村漁業協同組合、(株)井ゲタ竹内、NPO法人里海づくり研究会議、岡山県農林水産部水産課、生活協同組合おかやまコープ、(公財)おかやま環境ネットワークが集い、取り組み報告や、今後について交流をすすめました。

Ⅳ.『小学校・中学校連携

アマモ場再生活動』

～地域と世代をつなぐ里海づくり～

- ◆日時：10月3日（月）11時10分～12時40分
- ◆場所：備前市日生西小学校
- ◆参加者：60名
- ◆内容：日生中学校の生徒と、日生西小学校の児童が海洋学習を通じて共に学び、これに市民団体が加わり、地域と世代を越えた里海づくりの一環として開催しました。当日は、日生町漁業協同組合専務理事・天倉辰己氏からアマモの役割の解説の後、生活協同組合おかやまコープ井笠エリアと日生中学校の生徒の指導の下、日生中学校の生徒が採取したアマモ種子を使って、アマモポットを作成しました。

今回作成したポットは、あらかじめ選定した移植場所に潜水作業により定植し、その後の生育状況を観察する予定です。



授業の様子



作業の様子

市民のための環境講座開催報告

『夏休み親子企画・ご家庭にある保冷剤を使って芳香剤を作ってみませんか?』

- ◆日時：7月30日(土) 10時～11時30分
- ◆講師：(株)サンキョウエニビックス・神原直也氏、森平枝里香氏
- ◆参加者：27名
- ◆概要：岡山市では不燃物に指定されている保冷剤ですが、使い方や捨て方を工夫すれば環境にやさしく、リユースできます。
家庭にある保冷剤を使って芳香剤を作ることを通し、身近なごみ問題について学習しました。



神原直也氏、森平枝里香氏

『夏休み親子企画 ママカリの調理・試食を通して自然環境・海洋資源を考えよう』

- ◆日時：8月3日(水) 10時～12時
- ◆講師：ママカリ普及委員会代表・林宗男氏
NPO法人里海づくり研究会議・片山貴之氏
- ◆参加者：61名
- ◆概要：林宗男氏の指導のもと、実際にママカリの調理と試食をし、また、片山貴之氏の『アマモ場が作るゆたかな海』のお話を聞くことを通して、自然環境・海洋資源について学習しました。



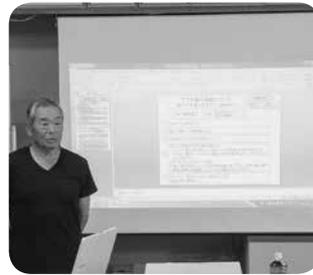
林宗男氏



片山貴之氏

『笠岡アマモ再生教室②種選別』

- ◆日時：8月5日(金) 10時～12時
- ◆講師：神島寺間・見崎里浜づくり代表・森中憲治氏
- ◆参加者：33名
- ◆概要：アマモ再生教室の今年度2回目企画として、アマモの種子の採取体験を行いました。
森中憲治氏の解説の後、浜に出て種子を海水で洗い、集会所に帰り、ごみなどの除去作業をしました。当日は、笠岡工業高等学校の生徒さんも参加してくれました。



森中憲治氏



採取の様子

『“海のゆりかご”と地球環境の関わり』

- ◆日時：9月10日(土) 10時～11時30分
- ◆講師：NPO法人里海づくり研究会議理事(おかやま環境ネットワーク理事)・田中丈裕氏
- ◆参加者：16名
- ◆概要：沿岸域に分布するアマモ場は“海のゆりかご”として重要なだけでなく、地球環境にとっても重要な役割を果たしています。
最新の知見を交えながらアマモ場の多面的機能、ブルーカーボン・シンクとしての役割などについて紹介いただきました。



田中丈裕氏

市民のための環境講座開催報告

『捨ててはいけない！』

～食品ロス問題を考える～

- ◆日時：9月20日（火）10時～12時
- ◆講師：岡山市エコ技術研究会理事・稲見圭紅氏
- ◆参加者：24名
- ◆概要：食品ロスの削減は世界的にも大きな課題となっている中、私たちの行動を見直し、どのように「食品ロス」問題に取り組むべきか、身近な事例をもとにお話いただきました。



稲見圭紅氏

『藻場の生態系復元実証事業報告 ～岡山県日生町地先のアマモ場再生に 伴う魚類相の変化～』

- ◆日時：9月24日（土）10時～12時
- ◆講師：岡山県農林水産総合センター水産研究所 研究員・中力健治氏
- ◆参加者：7名
- ◆概要：海の生物多様性に及ぼすアマモ場の役割や機能と藻場の生態系、岡山県におけるアマモ場再生の取り組みや、造成アマモ場における魚類相、生物相の変化、アマモ場周辺における漁獲状況などについてお話いただきました。



中力健治氏

『気象に関する防災知識及び災害について』

- ◆日時：10月1日（土）10時～12時
- ◆講師：岡山地方気象台次長・松本行博氏
- ◆参加者：21名
- ◆概要：比較的災害が少ないと言われている岡山県でも、地球温暖化の影響などを背景に、今後極端な気象現象の増加が懸念される中、自分の身を守るためのいろいろなお話をいただきました。



松本行博氏

『笠岡アマモ再生教室③ 種子播種ポット製作体験』

- ◆日時：10月12日（水）10時～12時
- ◆講師：神島寺間・見崎里浜づくり代表 森中憲治氏
- ◆参加者：25名
- ◆概要：笠岡市・見崎公会堂にて、岡山県立笠岡工業高等学校の生徒さん13名も参加し開催しました。最初に作業手順の解説があり、その後4グループに分かれ、種子播種ポットの植付＝育苗キットを製作しました。作成したポットは、各自持ち帰り、成長の経過を観察した後、来年1月24日の早朝、地元の干潟へ植え付ける予定です。



作業の様子

中学高校環境研究会

『旭川源流域でのいきもの・地史調査』

1. 事業の目的

旭川の自然豊かな源流域のいきもの、地史を明らかにするためにモニタリング調査を行っています。2010年から旭川源流部の3地域(鏡野町富地区・新庄村周辺地区・蒜山津黒地区)で順番に毎年調査を継続しています。今回は、6回目で蒜山地区(旧八束村・川上村)と津黒地区(旧中和村)の2つの旭川源流地域で、これまで調査できていない場所を含めて行いました。



2. 主な活動

蒜山の塩釜の冷泉、蒜山郷土博物館、蒜山珪藻土採掘場、植杉川、津黒いきものふれあいの里周辺、津黒川、山乗渓谷の調査を講師指導の下、行いました。



3. この活動の成果

・植杉川での魚類調査では、アカザ、カワヨシノボリ(♀)、カジカ(♂、♀)、タカハヤが確認され、津黒

川での魚類調査では、カワヨシノボリ(♀)、カジカ(♂、♀)、タカハヤ、アマゴが確認できました。



・津黒川での水生昆虫調査では、護岸整備された河川と自然溪流において、水生昆虫の種数を比較したところ、護岸整備された河川では46種、自然溪流では69種であり、自然溪流の方が護岸整備された河川よりも多くの種類の水生昆虫が生息していることが分かりました。また代表的な水生昆虫について生活型を比較したところ、自然溪流では上流域に生息する種類の水生昆虫が多く、生活型の多様性が高いことも分かりました。これらのことにより、護岸整備により河川環境が変化した結果、水生昆虫種数が減少したことが示唆されました。



・津黒川での夜間調査では、カジカガエル、タゴガエルなどの6種類のカエル及び、2個体のオオサンショウウオを確認することができました。
 ・蒜山・津黒地区の調査をとおして、旭川源流域の生物相や地史の一端を明らかにすることができました。
 ・調査活動を通じて、大学生が高校生に指導を行うことで、両者の相互の研修とすることができました。



4. 今後の計画・展望について

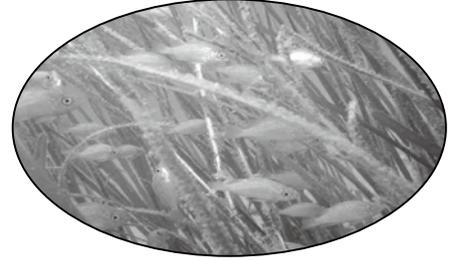
今後も継続して調査を行うことにより、旭川源流域の生物相等を明らかにしていきたいです。また、成果は地元へお渡しするとともに、旭川源流域のいきものについてのパンフレット作成などを通して、高校生や岡山市民への情報提供をしていきたいと考えています。



日生町漁業協同組合「海洋立国推進功労者」表彰記念シンポジウム

「地域をつなぐ里海・里山交流シンポジウム」

2015年10月に開催したアマモシンポジウムは、県内の取り組みをすすめている様々な団体、研究者、市民、事業者、行政等が集い、講演や取り組み事例紹介を通して、里海に関する理解や交流がすすみました。



今年度は、今年6月開催の全国アマモサミット開催の成果も踏まえ、里海（備前市日生町と笠岡市）、里山（真庭市）、「まち」（岡山市）の人達が立場や地域を越えて集い、地域によって異なるブランディングエレメントを考え、里海・里山ブランドの具体像を浮き彫りにし、今後のアクションプランに繋げます。

- ◆日時：2017年2月18日(土) 13時～17時
- ◆会場：オルガホール（岡山市北区奉還町1-7-7）
- ◆内容（予定）：一部変更となる場合もありますので、予めご了承ください。
- ◇基調講演①：「里海」より NPO法人里海づくり研究会議副理事長 柳哲雄氏（九州大学名誉教授）
- ◇基調講演②：「里山」より 認定NPO法人共存の森ネットワーク理事長 澁澤壽一氏
- ◇パネルディスカッション「里海・里山ブランドとは？」
- コーディネーター：NPO里海づくり研究会議理事長 松田治氏（広島大学名誉教授）
- パネリスト：7名（基調講演の演者に5名が加わり計7名を予定）
- ◆参加費：無料
- ◆定員：100名（先着）
- ◆申込：FAX・メール・郵送で下記「参加申込書」を送付、または必要事項を2月10日までにご連絡ください。



◆主催：環境省、日生町漁業協同組合、NPO法人里海づくり研究会議生活協同組合おかやまコープ、(公財)おかやま環境ネットワーク里海づくり推進部会

◆お申込・お問い合わせは
 公益財団法人おかやま環境ネットワーク
 〒700-0026 岡山市北区奉還町1-7-7（オルガ6階）
 TEL&FAX：086-256-2565 携帯：070-2355-1420
 E-mail：kankyounet@okayama.coop
 HP：http://www.okayama.coop/kankyounet/

切り取り

2/18シンポジウム 参加申込書 (FAX:086-256-2565)

フリガナ 代表者氏名			
電話番号		携帯番号	
住所	(〒 -)		
フリガナ 参加者氏名		フリガナ 参加者氏名	

**『市民のための
環境講座』ご案内**

- ◆ 11/26(土) 10～12時
岡山市生物多様性地域戦略
タウンミーティング『里地・里
山と生物多様性』
岡山市より現状・課題、戦略
案の説明を行い、意見交換しま
す。どなたでも参加できます。
- ◆ 12/10(土) 13時～14時30分
『環境を知るための市民の化学
(Part2)』
講師：岡山理科大学名誉教授・
野上祐作氏
環境問題を考えるうえで必
要な化学の基礎知識を伝授し
ます。化学の苦手な人にもわ
かりやすいお話しです。
- ◆ 1/28(土) 10～12時
『環境問題は解決できるの？
～会場参加型講座～』
講師：吉備国際大学教授・
井勝久喜氏
人々がライフスタイルを変え
ると環境問題は解決できるので
しょうか？環境問題の本質につ
いていろいろな角度から理解を
深め、参加者と議論しながら環
境問題の解決策について考える
会場参加型講座です。
- ◆ 2/25(土) 10時～11時30分
『児島湖の世界』
講師：岡山大学名誉教授・
青山勲氏
締め切り後児島湖は急速に
水質汚濁が進み、日本で最も
汚濁の激しい湖の一つであり、
最近では少しずつ改善してい
ます。講座では水質の変化と
四季折々の景観、その魅力に
ついて紹介します。
- 会場：オルガ5階
(岡山市北区奉還町1-7-7)
- 受講料：無料、要申込
- 定数：先着40名
- 申込：参加希望日と氏名、住所、
電話番号をご連絡ください。

**2017年度助成募集の
ご案内**

- ・募集期間：2016年11月1日
～12月9日午後5時必着
- ・詳しくはHP若しくはネット
ワークニュースNo.80をご覧
ください。募集要項をご覧い
ただき、団体として活用でき
るかどうか、ぜひご検討くだ
さい。
※書類に不備があった場合受
付できませんので、早めにご
応募、ご相談ください。

**環境家計簿カレンダー
同封について**

おかやま環境ネットワークと岡
山市とが協働ですすめています
「環境家計簿活動」に関する啓
発資料として『環境家計簿カレ
ンダー』ができあがりましたの
で、会員とモニターの皆様と同
封しています。ご査収ください。



2017環境家計簿カレンダー

**2017年度の事業・企画の
計画について**

おかやま環境ネットワークで
は、地域の皆様と一緒に環境保
全に関する様々な取り組みをす
すめています。おかやま環境ネ
ットワークと一緒に事業や企画
を計画しませんか？
団体・法人・個人は問いません。
何かアイデア、企画等ございま
したら、とりあえず事務局まで
ご相談ください。

**日生町漁協「海洋立国推進
功労者」表彰**

海に関する研究や水産、海運な
どの分野で功績があった個人・団
体を対象にした「海洋立国推進功
労者」の表彰式が8月25日、首相
官邸で行われ、30年以上にわたり
魚介類の産卵・成育場所となるア
マモ場の再生に努めている日生町
漁協などが表彰されました。
同漁協は漁獲量の回復を目指し、
1985年に藻場再生活動を開始。ア
マモから採取した種をまいたり、カ
キ殻を使って底質改善を図ったり
することで、12ヘクタールに減少
していたアマモ場は250ヘクタール
まで回復しています。6月には備前
市で「全国アマモサミット」が開
かれるなど活動の輪が広がり、先
進事例として注目を集めている点
が評価されました。

会員 募集中

おかやま環境ネットワークは、皆
様からの会費、寄附、ボランティア
活動で支えられています。ぜひ会
員となり、活動をご支援ください。
【年会費】
個人・団体：2,000円
企業等：20,000円
学生：無料（大学生、大学院生、
高校生、就職時は対象外）

.....
 ・ 2016年度会費をまだ納付いた
 ・ だいていない皆様に振込用紙を同
 ・ 封しております。是非、お振り込み
 ・ くださいますよう、お願いいたします
 ・ (入れ違いでお振り込みいただい
 ・ ておりましたらご容赦ください)。

**発行：公益財団法人おかやま
環境ネットワーク**

〒700-0026
 岡山市北区奉還町1-7-7(オルガ6階)
 TEL/FAX:086-256-2565
 携帯電話:070-2355-1420
 E-mail:kankyounet@okayama.coop
 HP:http://www.okayama.coop/kankyounet/